

岩の力「抗インフルエンザウイルス試験」結果

◆試験実施日 2018年12月20日

◆試験機関

受託者:株式会社ビオスタ 試験機関:株式会社プロテクティア
 大阪大学 開発博士の研究成果を実用化するために起業した、大学発ベンチャー企業。
 学術研究で培われた最先端の計測方法と抗ウイルス部材開発の過程で蓄えてきた
 ノウハウを組み合わせた抗ウイルス・抗菌部材の活性評価受託サービスを行っている。

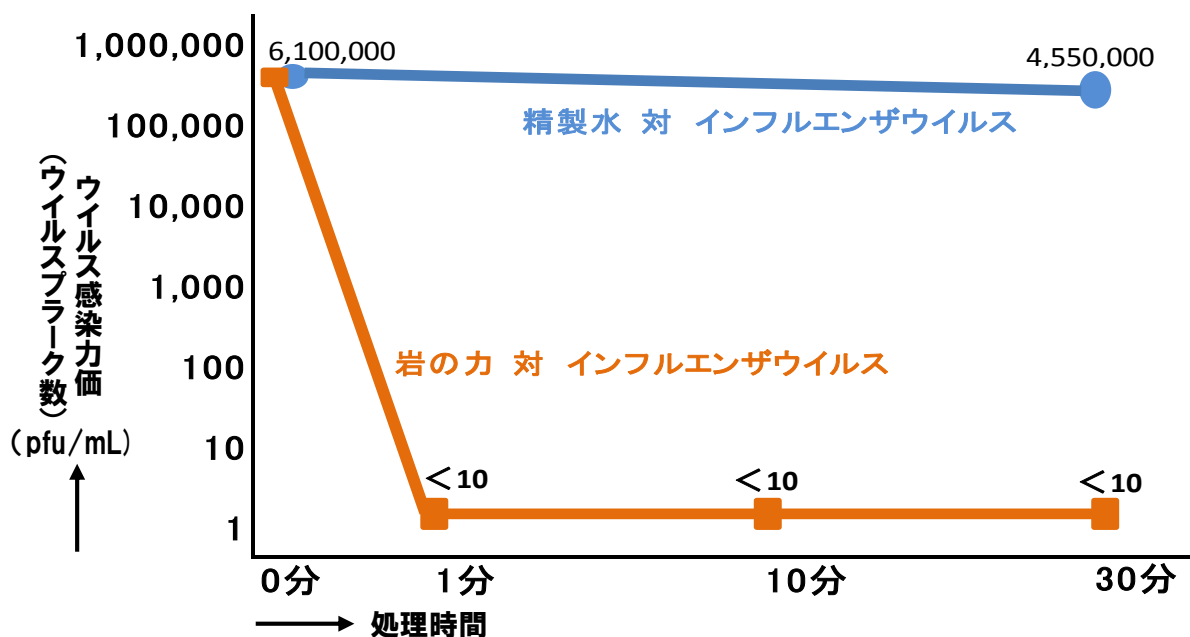
◆試験方法

岩の力とA型インフルエンザウイルス液を9:1の割合で混合し、1分後、10分後、30分後にウイルスの感染力価(プラーク数)を測定。(比較対照として、精製水とインフルエンザウイルスの9:1混合液を使用)

◆試験結果

岩の力はインフルエンザウイルスに対して、**1分程度で99.9998%以上不活性化させる**ことが確認された。

★処理時間ごとのウイルス感染力価グラフ(精製水との比較)★



★処理時間ごとのウイルス感染力価表(精製水との比較)★

		処理時間			
		0分	1分	10分	30分
対照サンプル (精製水対ウイルス)	ウイルス感染力価 (pfu/mL)	6,100,000	-	-	4,550,000
	減少値(%)	-			25.4%
試験サンプル (岩の力対ウイルス)	ウイルス感染力価 (pfu/mL)	6,100,000	<10	<10	<10
	減少値(%)	-	99.9998%以上	99.9998%以上	99.9998%以上

※<10という数値は、検出できる最小値以下ということです。

※注意事項

上記試験結果は、あくまでも実験室内でのものであり、人体に対する試験結果ではありません。